

歌舞伎

歌舞伎は、舞や楽器演奏を含む伝統的な日本の演劇です。期限は1604年に遡り、元禄期（1688～1704年）に全盛期を迎えました。歌舞伎はもともと女性により演じられていましたが、女性の出演が禁止され、今日では男性が女装する女方（女性役）という演者がおり、全ての役を男性が演じます。

歌舞伎は江戸時代に何度か禁止されましたが、明治時代に再興されました。第二次世界大戦後に一度衰退しましたが、現在では日本の伝統芸能の中で最も人気を博しています。人気歌舞伎役者は誰もが知っており、テレビ、映画、宣伝にも起用されています。このように有名な女方の1人が坂東玉三郎です。歌舞伎は日本文化に多大な影響を与え、アニメなどのポップカルチャーにも取り上げられています。日本のポップカルチャーの最も重要な起源の1つとも言えるでしょう。

歌舞伎には時代物から世話物、舞などいくつかの種類があります。時代物では日本史上、実際起きた出来事をモデルにしていますが、検閲を避けるために時代を変えることが多いです。世話物は家庭内の出来事や恋愛を取り上げていることが多く、最も有名なのは心中を描いたものです。他に美しい舞の演目もあります。

歌舞伎は演目を様式化したことや、豪華な衣装、役者の化粧で有名です。効果的な登場・退場や、演目の大事な場面でも活用される、客席まで伸びた「花道」と呼ばれる特徴的な装置などでも有名です。他にも、様々な機能を持った落とし戸や廻り舞台など、多くの装置があります。

歌舞伎においては、演目によって目の前で突然の縁者の早変わりがあったりするため、これらの舞台装置はとても重要になります。こういった変身場面において、緊張感を高めるために花道や落とし戸は大変効果的です。役者の突然の登場や退場などのステージトリックにも、これらの装置は使われます。演目において、役者が観客席の合間を宙に浮かび舞う場面もあり、今日では歌舞伎のトリックの中でも最も人気なものの一つです。これらの装置は全て、舞台裏ツアーを唯一行っている歌舞伎劇場である金丸座でしか見ることができません。

2008年に歌舞伎はユネスコの人類無形文化遺産の代表リストに登録されました。